



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <https://toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 川崎 正一 (TEL) 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,941	△9.4	256	△15.4	214	8.0	131	△2.7
2023年3月期第2四半期	27,516	15.7	303	△50.4	198	△80.4	135	△78.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,039百万円 (10.8%) 2023年3月期第2四半期 938百万円 (△12.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	6.27	—
2023年3月期第2四半期	6.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	68,305	18,489	27.0
2023年3月期	67,951	17,765	26.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,411百万円 2023年3月期 17,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	△8.8	700	△49.5	600	△49.1	390	△60.1	18.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2023年11月6日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	21,350,000株	2023年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	321,991株	2023年3月期	321,991株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	21,028,009株	2023年3月期2Q	21,156,581株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、社会経済活動の正常化が進んだことから、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、ロシア・ウクライナ問題の長期化や、米欧の金融引き締め、中国経済の回復の遅れ、物価上昇による消費意欲の冷え込みなどにより、世界経済は厳しい状況となりました。

化学業界におきましては、世界的な需要の鈍化や年央以降の原油価格の上昇などがマイナス要因となり、厳しい状況が続きました。

このような経営環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、海外の自動車関連や電子情報材料関連をはじめとする需要の低迷や、原料不足による石油樹脂の減産等により、前年同期比2,574百万円減収の24,941百万円となりました。

損益面につきましては、売上高の減少による収益へのマイナス影響が大きく、加えて人件費・設備費等の固定費の増加や2023年2月26日に発覚した当社サーバーへの不正アクセスに係る対応費用及び情報セキュリティ強化対策費用の発生もあり、営業利益は256百万円にとどまりました。ロシア・ウクライナ問題の発生に起因した原材料価格や用役費の急騰等により前々年同期から営業利益が半減した前年同期と比較しても、46百万円の減益となりました。また、経常利益は前年同期比15百万円増益の214百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3百万円減益の131百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

香粧原料は、一般洗浄剤の大口ユーザー向け販売の減少により大幅な減収となりました。プラスチック用添加剤は、帯電防止剤等の販売が振るわず減収となりました。土木建築用薬剤は、中国での販売がやや回復し増収となりました。農薬助剤は、国内外ともに低調で減収となりました。繊維助剤は、中国での販売がやや回復し増収となりました。紙パルプ用薬剤は、販売数量は減少したものの製品売価の上昇により増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比815百万円、5.4%減収の14,183百万円となり、セグメント利益は、前年同期比118百万円減益の165百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、原料不足による大幅な減産の影響で売上高は5割を超える著しい減収となりました。合成樹脂は、自動車部品向け等の販売が減少し減収となりました。樹脂エマルションは、ガラス繊維用薬剤等の販売伸長により増収となりました。アクリレートは、中国における電子情報材料関連の需要の落ち込みを主因に大幅な減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比847百万円、33.2%減収の1,702百万円となり、セグメント損益は、65百万円の損失（前年同期は55百万円の損失）となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外の自動車関連需要の落ち込みを主因に売上高は4割を超える著しい減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤等の販売数量が減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。石油添加剤は、国内外ともに販売が低調で減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比914百万円、24.9%減収の2,755百万円となり、セグメント利益は14百万円（前年同期は34百万円の損失）となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、プレーキ液基剤や医薬用等の需要回復により増収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体不況によるマイナス影響が期初の想定より拡大し減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比9百万円、0.1%減収の6,229百万円となり、セグメント利益は、前年同期比80百万円増益の193百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益又は損失の前年同期比の数値は、後記P. 9(セグメント情報)「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が△54百万円(前年同期は△6百万円)あります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、68,305百万円と前期末比353百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が222百万円減少の36,745百万円、固定資産が576百万円増加の31,559百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が158百万円の増加、受取手形及び売掛金が337百万円の減少、棚卸資産が210百万円の増加、前渡金や未収消費税等の減少を主因とするその他(流動資産)が254百万円の減少です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が123百万円の増加、投資その他の資産が473百万円の増加です。

負債合計は49,816百万円と前期末比370百万円の減少となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が904百万円の減少、未払法人税等が149百万円の減少、設備関係支払手形や未払消費税等の増加を主因とするその他(流動負債)が948百万円の増加、社債が300百万円の減少です。

純資産は、18,489百万円と前期末比724百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純利益との差額等により183百万円の減少、その他の包括利益累計額が907百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は27.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は6,041百万円となり、前連結会計年度末と比較して158百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は1,409百万円の収入(前年同期比894百万円の収入増)となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益194百万円、減価償却費1,518百万円、売上債権の減少額487百万円、未払消費税等の増加を主因とするその他515百万円等であり、支出の主な要因は、棚卸資産の増加額123百万円、仕入債務の減少額1,024百万円、法人税等の支払額218百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は655百万円の支出(前年同期比2,809百万円の支出減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出602百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は690百万円の支出(前年同期は563百万円の収入)となりました。収入の主な要因は、長期借入金の純増額160百万円等であり、支出の主な要因は、社債の償還による支出300百万円、リース債務の返済による支出153百万円、配当金の支払額315百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高は、中国経済の低迷や半導体不況の長期化等により製品需要が前回予想時の想定よりも弱含みで推移していることから、前回予想を下回る見通しです。

利益面については、売上高の下振れによるマイナス影響により、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を下回る見通しです。

その結果、2023年8月7日の「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想を変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,078	6,237
受取手形及び売掛金	13,976	13,638
棚卸資産	16,071	16,281
その他	849	595
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	36,968	36,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,480	13,419
機械装置及び運搬具（純額）	5,418	5,271
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	393	875
その他（純額）	1,782	1,632
有形固定資産合計	24,220	24,344
無形固定資産	1,233	1,213
投資その他の資産	5,528	6,001
固定資産合計	30,982	31,559
資産合計	67,951	68,305

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,965	9,061
短期借入金	10,577	10,603
1年内償還予定の社債	800	800
未払法人税等	255	105
契約負債	8	7
賞与引当金	579	569
その他	3,396	4,345
流動負債合計	25,582	25,492
固定負債		
社債	2,000	1,700
長期借入金	15,295	15,394
退職給付に係る負債	6,196	6,244
資産除去債務	68	68
その他	1,042	915
固定負債合計	24,603	24,324
負債合計	50,186	49,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	11,971	11,788
自己株式	△163	△163
株主資本合計	14,460	14,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,870	2,350
為替換算調整勘定	1,710	2,119
退職給付に係る調整累計額	△353	△334
その他の包括利益累計額合計	3,227	4,134
非支配株主持分	77	77
純資産合計	17,765	18,489
負債純資産合計	67,951	68,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	27,516	24,941
売上原価	24,289	21,677
売上総利益	3,227	3,263
販売費及び一般管理費	2,923	3,006
営業利益	303	256
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	57	64
為替差益	-	21
物品売却益	31	28
その他	16	32
営業外収益合計	109	152
営業外費用		
支払利息	158	156
為替差損	12	-
その他	44	38
営業外費用合計	214	195
経常利益	198	214
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	104	-
特別利益合計	104	-
特別損失		
固定資産廃棄損	26	19
投資有価証券売却損	0	-
生産停止に伴う損失	65	-
特別損失合計	92	19
税金等調整前四半期純利益	211	194
法人税等	82	65
四半期純利益	128	128
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	135	131

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	128	128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△337	479
為替換算調整勘定	1,128	412
退職給付に係る調整額	19	19
その他の包括利益合計	809	910
四半期包括利益	938	1,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	933	1,039
非支配株主に係る四半期包括利益	4	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	211	194
減価償却費	1,514	1,518
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25	△12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	157	72
受取利息及び受取配当金	△61	△69
支払利息	158	156
為替差損益 (△は益)	33	△8
投資有価証券売却損益 (△は益)	△104	-
固定資産売却損益 (△は益)	△0	-
固定資産廃棄損	26	19
売上債権の増減額 (△は増加)	△868	487
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,811	△123
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,112	△1,024
その他	467	515
小計	808	1,716
利息及び配当金の受取額	61	69
利息の支払額	△156	△158
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△198	△218
営業活動によるキャッシュ・フロー	515	1,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,666	△602
有形固定資産の売却による収入	0	-
無形固定資産の取得による支出	△41	△59
投資有価証券の取得による支出	△39	△4
投資有価証券の売却による収入	175	-
その他	107	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,464	△655
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	153	△81
長期借入れによる収入	3,500	2,800
長期借入金の返済による支出	△2,446	△2,639
社債の発行による収入	296	-
社債の償還による支出	△300	△300
リース債務の返済による支出	△150	△153
自己株式の取得による支出	△156	-
配当金の支払額	△319	△315
非支配株主への配当金の支払額	△11	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	563	△690
現金及び現金同等物に係る換算差額	101	94
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,284	158
現金及び現金同等物の期首残高	7,306	5,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,021	6,041

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	13,299	1,893	1,762	5,879	22,834	34	22,868	—	22,868
アジア	1,394	649	1,572	244	3,861	21	3,882	—	3,882
その他	305	7	336	115	763	0	764	—	764
顧客との契約か ら生じる収益	14,999	2,550	3,670	6,238	27,459	56	27,516	—	27,516
外部顧客への 売上高	14,999	2,550	3,670	6,238	27,459	56	27,516	—	27,516
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	55	55	△55	—
計	14,999	2,550	3,670	6,238	27,459	112	27,571	△55	27,516
セグメント利益 又は損失(△)	284	△55	△34	112	307	2	310	△6	303

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6百万円には、棚卸資産の調整額△34百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リテイー ケミカル	計				
売上高									
日本	12,281	1,365	1,671	6,015	21,334	32	21,367	—	21,367
アジア	1,641	334	806	205	2,987	34	3,021	—	3,021
その他	260	3	277	8	550	1	552	—	552
顧客との契約か ら生じる収益	14,183	1,702	2,755	6,229	24,872	69	24,941	—	24,941
外部顧客への 売上高	14,183	1,702	2,755	6,229	24,872	69	24,941	—	24,941
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	62	62	△62	—
計	14,183	1,702	2,755	6,229	24,872	131	25,003	△62	24,941
セグメント利益 又は損失(△)	165	△65	14	193	308	2	311	△54	256

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△54百万円には、棚卸資産の調整額△74百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。